

# 景気動向調査結果報告

豊橋商工会議所 中小企業相談所

全産業業況 DI 値は前回調査から 5.3 ポイント悪化、平成 30 年度第 2 四半期からは 13.4 ポイント悪化

## ■全業種概要

全産業の総合判断 DI 値は▲15.7 (前期比▲5.3、前年同期比▲13.4)、来期見通し (10月～12月) について、業況 DI 値は▲24.5 (当期比▲8.8) となった。

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要は多少感じられるものの、人手不足や不安定な国際情勢の影響で業況が悪化しているとの声が多く聞かれる。

設備投資については、「実施した」との回答が 33.1 (前期比▲3.5、前年同期比▲5.5)、来期に設備投資を「計画している」との回答は 36.7 (当期比+3.6) となった。

## ■製造業

業況 DI 値は▲25.0 (前期比▲10.9、前年同期比▲21.3)、来期の見通しについては▲33.3 (当期比▲8.3) となった。

電子機器製造業において、日韓の関係悪化による半導体業界の需要減少で売上が低迷している他、食品製造業では、野菜の原料値上がりに伴い商品価格を値上げしたところ売れ行きが大幅に減少したとの声が聞かれた。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「人件費の増加」、「従業員の確保難」が主に挙げられる。

## ■建設業

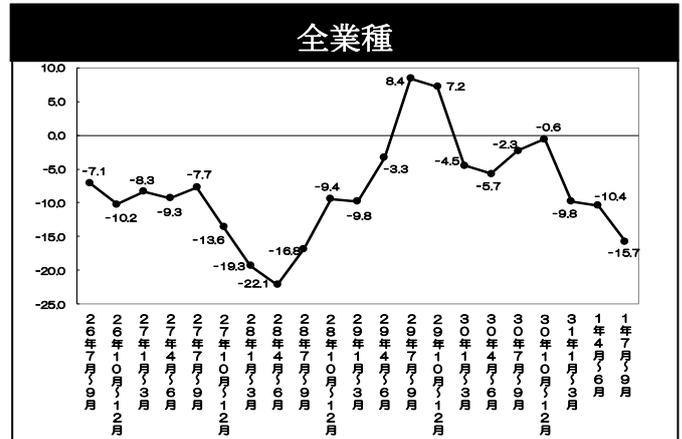
業況 DI 値は▲3.8 (前期比▲8.0、前年同期比▲11.5)、来期の見通しについては 11.5 (当期比+15.3) となった。

例年に比べ梅雨が長引いたためコンクリート関連の出荷に悪影響を及ぼしたとの声が聞かれる他、民間・公共工事の受注量減少による売上低迷の声が聞かれた。

経営上の問題点としては、「従業員の確保難」、「官公庁需要の停滞」、「熟練技術者の確保難」が主に挙げられる。

## 調査概要

- 調査対象
  - (1)対象地区：豊橋市内
  - (2)対象企業数：342社
  - (3)回答企業数：171社 (回答率 50.00%)
- 調査期間  
令和元年7月～9月
- 調査方法  
往復はがきによるアンケート調査
- 回答企業の内訳  
製造業 80・建設業 26・卸売業 20  
小売業 20・運輸業 12・サービス業 13

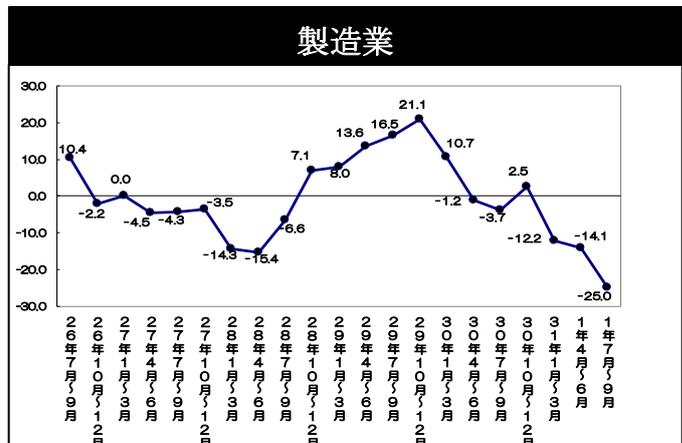


《A》 前期 (平成30年7月～9月) と比較した景況感

良い	同様	悪い	DI 値	
16.9%	50.6%	32.5%	▲15.7	↓

《B》 来期 (令和元年10月～12月) の景況見通し

良い	同様	悪い	DI 値	
11.7%	52.1%	36.2%	▲24.5	↓

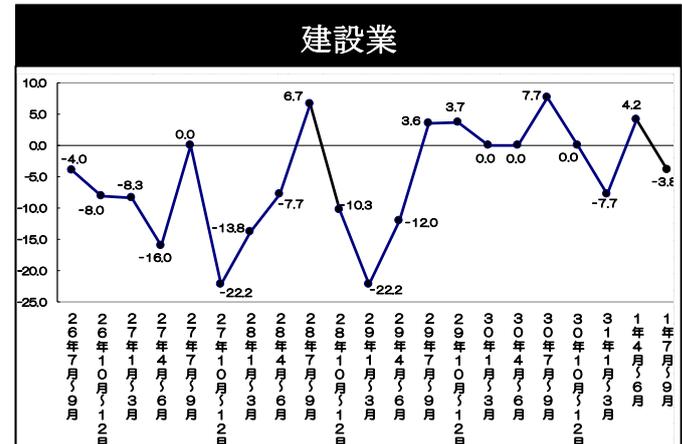


【今期の景況】 令和元年7～9月

自社の業況	▲25.0	↓
-------	-------	---

【来期見通し】 令和元年10～12月

自社の業況	▲33.3	↓
-------	-------	---



【今期の景況】 令和元年7～9月

自社の業況	▲3.8	↓
-------	------	---

【来期見通し】 令和元年10～12月

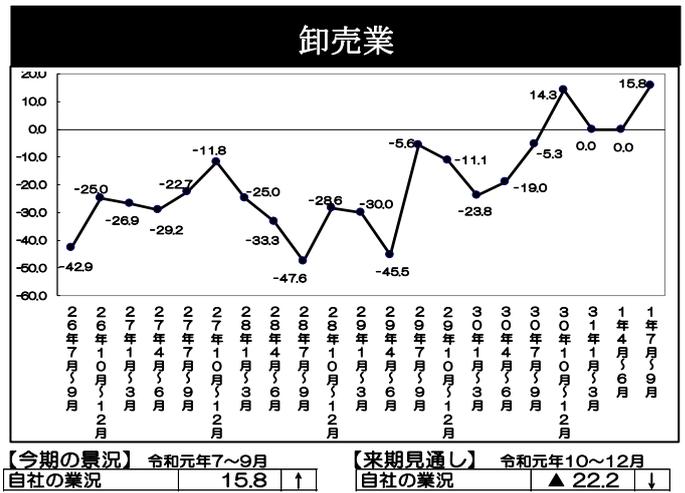
自社の業況	11.5	↑
-------	------	---

## ■卸売業

業況 DI 値は 15.8（前期比+15.8、前年同期比+21.1）、来期の見通しについては▲22.2（当期比▲38.0）となった。

ペット関連や鋼材卸売業では売り上げが好調に推移したとの声が聞かれる一方、前年並みの売上確保は出来たものの運送費の上昇、資材や人件費の増加で利益確保が困難との声が聞かれた。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「従業員きょうあいの確保難」、「店舗の狭隘」が主に挙げられる。

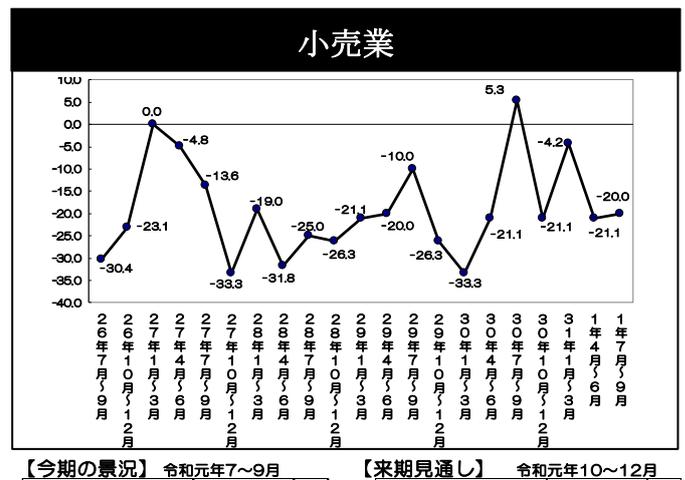


## ■小売業

業況 DI 値は▲21.1（前期比▲16.9、前年同期比±0.0）、来期の見通しについては▲31.6（当期比▲10.5）となった。

服小売業では、先物買いは控え、必要最低限の購入スタイルが目立つ、といった声や来期の見通しについて食品販売店では、10月の消費税増税を控え消費者の買い渋りを不安視する声が聞かれた。

経営上の問題点としては、「従業員の確保難」、「需要の停滞」、「消費者・製品ニーズの変化への対応」が主に挙げられる。

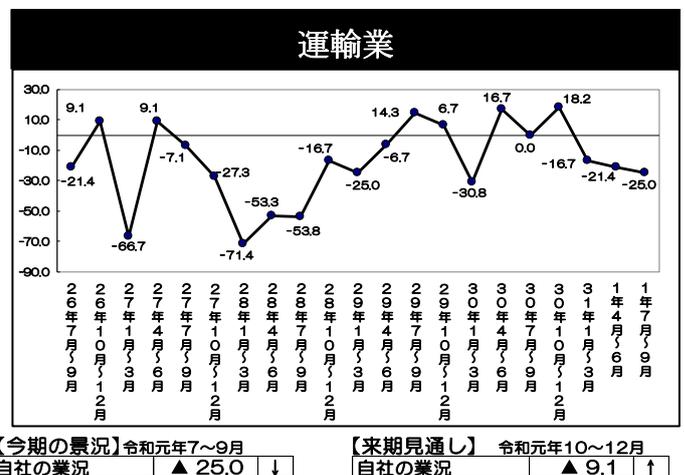


## ■運輸業

業況 DI 値は▲25.0（前期比▲3.6、前年同期比▲25.0）、来期の見通しについては▲9.1（当期比+15.9）となった。

引き続き人手不足に悩む声が多く聞かれる中、受注量の減少により、業況が悪化傾向との声もある。さらに来期の見通しについて消費税率引き上げに伴い物流が滞り、景気悪化を見込む声が聞かれた。

経営上の問題点としては、「従業員の確保難」、「人件費の増加」「需要の停滞」が主に挙げられる。



## ■サービス業

業況 DI 値は▲15.4（前期比▲15.4、前年同期比+3.4）、来期の見通しについては▲38.5（当期比▲23.1）となった。

業界全般で人手不足が嘆かれる中、10月からの消費税率引き上げによる需要の低下や最低賃金の上昇に伴う収益性の悪化など、先行きを不安視する声が多く聞かれた。

経営上の問題点としては、「従業員の確保難」、「人件費の増加」、「需要の停滞」が主に挙げられる。

